

# ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局；大代地区公民館 ☎ 364-8442

## 新年を祝う会

大代地区の皆さんが一同に会して、恒例の『新年を祝う会』を左記の通り開催いたします。

コミュニティ推進協議会は、明るい地域づくりと住民のふれあいの場の醸成を目指して活動いたしております。来年も盛大に開催いたしますので、多数の方々参加をいただきますようお願い申し上げます。

記

◆日時 平成十四年一月十三日(日) 午前十一時～午後一時

◆会場 大代地区公民館

◆会費 一、五〇〇円

◆祝宴 アトラクション

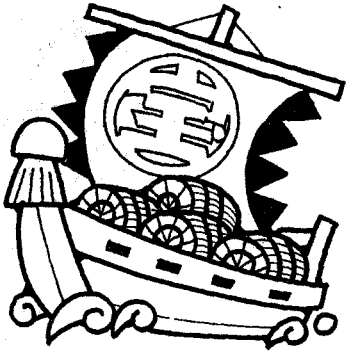
カラオケ・舞踊等

(お楽しみ抽選会あり)

◆申込み 各行政区長からご連絡いたします。(十二月初旬予定)

大代地区コミュニティ推進協議会

会長 跡辺 三夫



ご祝儀 お見舞いは 三千元を限度にお返し物はしないようにお互い気を配りましょう

あいさつは心のふれあい あいさつしましよう出会った人と あいさつしましよう

## 消防団からのお知らせ



いよいよ冬到来、師走の音が聞かれるようになりまます今日この頃、皆さま方にはお元氣でお過ごしのことと思えます。日頃消防団活動に色々ご理解をいただきたき誠にありがとうございます。

今年は何年になく火災の発生が多いと云うこととございます。最近もこの町内から火災の発生がありました。緑地公園内の資材置場からの出火。この火災では焼死体が出ております。

これからの季節は空気が乾燥して火災の発生しやすい気象状態が続きます。風の強く吹く日も多くなります。どうか皆さんこれから寒くなりますので、暖房器具や火の取り扱いが多くなります。枯れ草、落ち葉などのたき火、またばこ吸殻などのポイ捨てなど、ちょっとした不注意が大きな火災につながりますので十分気を付けましょう。

又日頃から外出時や就寝時にはもう一度家庭の火の元をチェックする習慣もつけていただきたいと思います。皆さん一人一人が火災の怖さをいつも忘れずに用心を心がけるようお願いいたします。そしてこれからは安心して快適に住める町づくりのためにご支援ご協力をお願いいたします。

第六分団長 桜田 栄松

## 失敗しても逃げ出すな

人間は神様ではありません。従って我々にミスはつきものです。特に若いときは血の気が多く、若気のいたりでミスも多くなります。

失敗した時、言い訳や逃げ口上を言っではいけない。そうわかっていてもやはり言い訳を考え、逃げを打ち隠そうとしてしまいます。それよりも悪びれずに「すいません」というほうがずっとスマートではないでしょうか。

そこで失敗し、がっくりした時にはどうやって立ち上がれば良いのでしょうか。まことに平凡なことですが、先輩や上司に相談して教えを乞うのが一番です。こういう時は全てを吐き出して、誰か信頼する人に話してしまつたら良いのです。そうすればスカツとするでしょう。そして自分のやったことを色々な角度から検討し、いったいどこが悪く、なぜそのようになったのか。自分で反省することです。

みなさんの先輩の全てがこういったことを繰り返しつつ、だんだんと利口になり、失敗を繰り返さなくなつていったのです。人間は一人では生きられません。困つたとき、失敗したとき相談できる人が必要です。社内にも相談相手になつてくれる人がたくさんいるはずですが、ただ最後に物事を決めるのは自分自身です。自分のことを始末することが出来るのは、自分だけだということをお忘れずに、失敗を成功に結びつけるようにして下さい。

大代東区 本郷 新治

## クラウンドゴルフ大会を終えて



大代地区コミュニティクラウンドゴルフ大会が去る十一月二十四日緑地公園内において三十七名参加のもと開催されました。

当日は晩秋とはいえ、絶好の小春日和に恵まれ、桜・樺の落ち葉を踏みしめる足音も軽やかに、お互いコミュニケーションを図りながら、和氣あいあい、無事終了することができました。

また、この大会の盛り上げに陰にご協力下さいました大代地区公民館長始め職員の皆さま大変ありがとうございました。

なお成績は次のとおりで、入賞された方おめでとうございました。

優勝 西條 健二さん

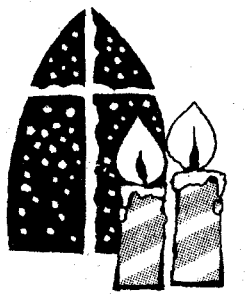
準優勝 加藤 清明さん

第三位 西山 哲さん

コミュニティ推進協議会

体育部長 熱海 五郎





### 「こんいちわ、恵愛ホームです！」

初冬の候、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

わが国は高齢化社会を迎え、寝たきり老人は約百万人になるといわれています。今回は、寝たきりにならないためにも、その原因についてお話したいと思います。

寝たきり発生の原因となる疾患の多くは「脳卒中」ですが、「リウマチや骨折を含めた骨関節疾患」も多く、その発生には骨粗鬆症が深く関係しています。ですから寝たきりの予防には、まず脳卒中と骨粗鬆症の予防が重要です。

脳卒中については高血圧症・肥満・高脂血症のある人は動脈硬化になりやすいので、定期的な診察が必要です。食事では、塩分・脂肪分を控えましょう。骨粗鬆症は、主にホルモン・カルシウムの減少や運動不足によって、骨がもろくなり、骨折しやすくなる病気です。改善するには、お薬による治療とともに食事・運動・日光浴についての配慮が必要です。カルシウム・たんぱく質とカルシウムの吸収を促すビタミンDを十分に取り、毎日三十分から一時間程度の散歩をするなど無理なく体を動かすことが大切です。

いつまでも健康でいられるように、毎日の生活で意識して努力し試してみたいかがでしょうか。

### シベリア慰霊訪問4

朝のコールで眼が覚めた。直後天気が一番気になる。カーテンを引いて確かめ快晴だ。夕べ降った雨だろ。路の窪みに水溜まりがあり、街樹の緑が一段と濃く今日も暑くなりそう。墓参の旅も四日目となった。

今日は一日近郊の墓参と観光とか。この街は縦横に整然とした通りだが昇っては下り、下っては昇りの街であり丘から眺めるアムール川は実に雄大であり、作業船・観光船の上り下りで賑わう。

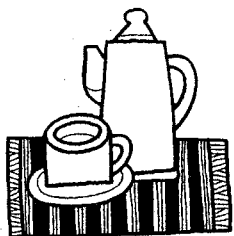
まず近くの高台にある墓へ供物して黙祷した。少しでも多くの場所に行き墓参したい。こんな機会はまたとないだろうから。体力は年齢と共に低下、遠い旅も避けるようになり、モスクワもシベリアもバイカル湖周辺も遙かに遠い所になった。

今もって真偽の程が解らないのがシベリアに抑留された日本人の数である。通説には約六十万人。死者六万人、生還した者四十七万人。後は生死不明者として処理されているのだろうか。こうしたシベリア抑留を国民全体の体験として考えていただき、後世に語り伝



えていく事こそ生きて帰った一人として願わずにはいられない。

周辺の墓参も済み、夜二十時発でシベリア鉄道本線で四百キロの移動となる。車中泊りで翌午前一時十九分イズベストコフヤ着本線を降り、バスを乗り継ぎ招待所で休憩。イズベストコフヤ、又クリドールの墓参となかなかきついスケジュールだ。サナトリウム温泉入浴、夕食、仮眠をとり、ここからクリドールを二十三時四十分発でウルガル線に乗り換え車中泊でティルマに着く。五十数年ぶりのこの地、どう変わっているのか気持ちが高ぶる。



か気持ちが高ぶる。宿舎に向かう。そこは幼稚園舎だ。夜中なのに職員の方々、それに司長さんとか(区長さん)等々の出迎えを受け熱いコーヒーを頂く。

私がこれから訪れるティルマは、昭和二十年十一月末から二〇二〇分所を皮切りに、昭和二十三年十一月まで三年少し分所を転々としながら捕虜生活を送ってきた所です。冬は森林伐採、夏は鉄道工事と強制労働に服した、勿論きついノルマがついて、何十万の捕虜の大半はこのウルガル鉄道・バム鉄道の建設に動員されたのです。

飢えと寒さでの鉄道建設は苦闘の連続でした。生還した者四十七万人。その余りは異国の土となり、或いは生死不明者となったのです。私はちよつとした怪我のためティルマ二〇九病院に入院・退院後帰国する者の交代要員として病院勤務を続けたのです。残念なのは入所当初から一緒の親友を二人も亡くしたのだ。帰国も近いというときに。丁重に野辺送りを済ませた。作業は墓穴掘り、死体運び、野辺の送りは入院患者、作業員の見守る中で馬車・馬そりで送った。二人ペアで三組程がでていたと思う。埋葬後一体毎に札を

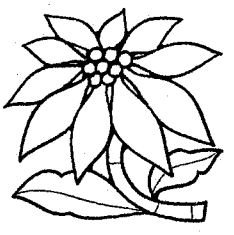
立て番号のみの卒塔婆だけの淋しいものでした。その数は四百を優に超えていると記憶している。当時ソ連側の名簿にある死亡者二百五十は余りにも少なすぎる。埋葬地は山を下り、沢を越え森林深く暗い所なのです。

多くの抑留者は凍てつく荒野で命を落とし、看取る肉親もなく簡単に打ち捨てられたのです。無惨に変わり果てた僚友の姿に明日の自分の姿を重ね合わせ恐ろしさに身震いした事を今はつきりと思ひ出すのです。都市周辺の基地はロシア側が新しく造ったいわば墓参団用の観光墓なのである。ツルハシも受けつけない凍土に墓穴を掘ったことがある体験者なら本場の墓地は都市の場所がないことを知っているのです。そこは囚人の流刑地の人里離れた僻地の丘や寒風吹き抜ける崖ぶちにあるのだ。長年訪れる人もなくシベリアの淋しい空にさまよう幾万の霊が、訪れた私達に無念の悲しみを訴えているのだろうか。背筋が寒い。疲れた。

今は亡きかつての友よ安らかに眠ってください。次回に続く。

大代南区 後藤清一

### 俳句



- ☆ つばの碑に陽の差し込める秋彼岸
- ☆ 鞘堂の 昼暗がりに ちろろ鳴く
- ☆ 蔵王嶺 背負いて稲架の高きかな
- ☆ 興太の碑 字画浮出す 夜半の月

大代西区 松浦富男

★「月夜のメルヘン5」は紙面の都合により休載いたしました。(広報部)